

## ●プロジェクトの目的

このプロジェクトは、海外からの観光客が急激に増加しているニセコ地域を対象地域としています。ニセコ地域は、平成26年に観光圏の認定を受けたことを契機に更なるブランドアップを図り、世界に通用する、国際リゾート地を志向しているところです。その為には、観光資源の質の向上が必要であり、現地でのフィールドワークを通じ、観光資源のブラッシュアップ、国際観光マーケティングの方向性検討を行います。

## ●具体的な取組み

具体的な取組みとして、ゼミナールの3年生を中心にニセコ地域4つのスキー場に派遣、観光資源(施設整備状況、実際の交通機関の状況、買い物施設の状況など)のチェックを行いました。また、ゼミナールでニセコ観光圏の現状についてディスカッションを行い、地域課題の共有を図りました。

## ●成果

フィールドワークの結果、「リフト設備及びゴンドラ設備」の老朽化「各スキー場を結ぶバススケジュール改善の必要性」が課題として抽出されました。これらの課題は、ニセコ地域の研究プロジェクトと連動して、課題を解決に向けた取組みを検討していく方針です。また、ゼミナールの学生については、地域に実際に赴き、地域での実態調査を行ったフィールドワークを通じ「地域の実情」を把握したとともに、「インバウンド観光(外国人観光客の誘致)の課題」について理解が進みました。このプロジェクトを通じて、ゼミナールでのinput教育、フィールドワークでのoutput(実践)教育を併用することで、学生の著しい成長を実感することができました。



冬季フィールドワーク